



メディカルクリエーションふくしま2024開催案内

昨年行われた2023では、インキュベーションセンターの入居企業である株式会社ナガヨシが「MCF」大賞に輝きました。

今回20回目の「メディカルクリエーションふくしま」は、さらにパワーアップ！

- ① ものづくり企業の魅力を発信
- ② 医療機器メーカーとのマッチング
- ③ 専門家による個別アドバイスとなります。

医療技術の最前線に「見て・触れて・体感する」をテーマに次の日程で行われますので、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

◆日 時：9月27日(金) 10:00～17:00
28日(土) 10:00～16:00

◆会 場：ビッグパレットふくしま

◆主 催：メディカルクリエーションふくしま実行委員会

◆入場料：無料



昨年のブースにMCF大賞のパネルが輝く

広域連携産業支援ネットワーク構築事業(福島県委託事業) 第1回ワークショップ開催報告

自社製品の高度化等に当たって、自社だけでは対応が難しい技術的課題がある場合、産業支援機関のコーディネーターが連携し県内全域からパートナー企業をお探する取組です。

第1回ワークショップでは、プレゼン企業6社に参加頂き、積極的に質疑応答が行われるとともに、一部企業では現地調査も行われました。

- ◆開催日、会場：6月25日(火) ビッグパレットふくしま
- ◆プレゼン企業：6社(福島1、郡山2、須賀川1、会津1、南相馬1)
- ◆参加者：39名(県3、支援機関6、自治体11、アドバイス機関9、事務局10)



昨年度は10件のプレゼン案件に対し、22件のマッチングを行いました。(株)ナガヨシ(石川町、現 (株)カネバン福島工場)では県内企業2社と連携して「もみ殻トレイ」を商品化し、いわき市の大型リゾート施設等で採用されました。また、(株)吉城光科学(須賀川市)では、工場移設を機にAMR(自律走行搬送ロボット)を導入すべく地元企業と連携を進めています。

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会 第1回ボードメンバー会議 開催報告

7月24日(水)に令和6年度 第1回ボードメンバー会議を出席者9名で開催しました。

主催者挨拶、メンバーの自己紹介に続き議事に移り、令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画について事務局より説明後、ボードメンバーと意見交換を行いました。

事業計画の中で、DXセミナー開催についても下記の内容で紹介しました。今やDX戦略の重要なツールともなりうる生成AIの最新動向や活用事例を学び、業務改善のステップアップに役立てていただくことが主旨です。なお正式な募集は改めてHPやメールマガジンでご案内いたします。

- 第1回「業種別生成AIの活用事例から学ぶ」 9月25日(水)13:00～15:00
- 第2回「生成AIを活用したDXへの取組み」 11月 6日(水)13:00～15:00
- 第3回 詳細準備中。



7月2日(火)に、郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議の役員会、総会を開催しました。

令和5年度の事業報告及び収支決算、令和6年度の事業計画及び収支予算について、原案のとおり承認されました。また、令和6年度における役員を役員会で決定し総会で報告をしました。

総会終了後には、当機構の内田インキュベーションマネージャーによるインキュベーションセンターの支援成果等の報告を行いました。



令和6年度役員

(敬称略)

会 長	大槻 努	作田電機(株) 代表取締役社長
副会長	水上 哲夫	(有)ぱすわーど 代表取締役
委 員	高橋 晃一	(株)アーバン設計 代表取締役
委 員	石橋 克郎	石橋ハマプラス(株) 代表取締役
委 員	平原 一昭	岩通マニファクチャリング(株) 代表取締役社長
委 員	神田 雅彦	神田産業(株) 代表取締役
委 員	吉田 尚正	(株)吉城光科学 代表取締役社長
委 員	小野 真	日本全薬工業(株) 取締役
委 員	足立 裕昭	林精器製造(株) 執行役員 メカトロ事業部 事業部長
委 員	青木 隆直	陸奥テックコンサルタント(株) 副社長
監 査	樽川 久夫	アルファ電子(株) 代表取締役会長
監 査	遠藤 正成	(株)北斗型枠製作所 代表取締役

イノベーションに取り組む企業に産学官連携における支援を行いました

福島県産学官連携支援プロジェクト「ふくいろキラリプロジェクト」により東亜通商株式会社様を訪問し、福島県地域産業振興・創生アドバイザーである堀切川先生を中心に、技術的課題解決のため販売するうえでの高付加価値化のアドバイスをいただきました。

東亜通商株式会社

端材を活用した極厚バーベキュー鉄板「THE GRILL」

昭和61年創業の東亜通商株式会社は、建築用鋼材の仕入・加工・配送を行う卸売会社。郡山市に3つの工場を持ち、78名の従業員が働く。

極厚バーベキュー鉄板「THE GRILL」を考案したのは、現場で働く影山さん。鋼材の加工で発生する端材に目を付け「別の商品に再利用できないか？」と考えたのがきっかけなのだそう。

最大の特徴はその厚み。ホームセンターで購入できる鉄板は通常2～3mmだが、THE GRILL は6mmと極厚。熱伝導性が高く均等に熱を加えられるため食材の味を損なうことなくおいしく仕上がる。幅25cmの大きすぎないサイズ感、一人焼肉や家族でのBBQにぴったり。取引先の鉄工所からも好評で、社長から社員へのプレゼントや、イベントの景品に使われることもあるという。

「最初は遊びのつもりでつくりました。まさか商品化するとは思わなかった」と笑う影山さん。商品化の背景には、高橋社長の社員に対する熱い思いがあった。

THE GRILL は、東亜通商にて直接購入が可能。7月からは二本松市の「フォレストパークあだたら」で販売が開始され、通販サイトも立ち上げる予定。

現在は郡山市ふるさと納税の返礼品リストに申し込んでおり、県内外からの需要拡大を目指す。

【編集者からのコメント】

先日、鉄板を購入してバーベキューに使わせていただきましたが、重量感のある極厚の鉄板で高熱でも曲がることなく、焼き上がったお肉もおいしくいただきました。(´～`)ぴ ぴ



代表取締役社長 高橋正子さんと影山さん

